



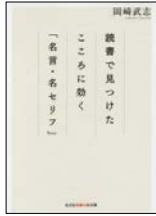
7月新着本案内

愛知みずほ大学瑞穂高等学校
瀬木学園図書館

「読書で見つけたところに効く「名言・名セリフ」」

岡崎武志著(019.9/オ)

年間数百冊を読んで書評を書く著者が、読書中に気に入ったフレーズを抜き出したノートから、厳選して紹介しています。心が折れそうになったとき、凝り固まった頭をほぐしたいときなど心にしみる名言とセリフです。



『漫画家たちが描いた日本の歴史1～6巻』

- 「1:古代・王朝絵巻」水木しげる ほか著 (210.1/マ/1)
- 「2:戦国乱世」木原敏江 ほか著 (210.1/マ/2)
- 「3:江戸町人文化」村野守美 ほか著 (210.1/マ/3)
- 「4:武士の誇り」岩明均 ほか著 (210.1/マ/4)
- 「5:文明開化・富国強兵」菅野文 ほか著 (210.1/マ/5)
- 「6:高度成長光と影」秋本治ほか 著 (210.1/マ/6)



『漫画家たちが描いた仕事：プロフェッショナル』

- 「おもてなしの仕事」いしぜきひでゆき ほか著 (366.29/マ)
- 「くらしを支える仕事」林律雄ほか著 (366.29/マ)
- 「自然とかかわる仕事」北原雅紀 (366.29/マ)
- 「食にかかわる仕事」早川光 ほか著 (366.29/マ)
- 「人に伝える仕事」飛鳥あるとほか著 (366.29/マ)
- 「ものづくりの仕事」大河原遯ほか著 (366.29/マ)



仕事にまつわる喜びや、やりがい、大変さが描かれています。

◇戦争に関する本◇

- 「学芸員と歩く愛知・名古屋の戦争遺跡」伊藤厚史著 (215.5/イ)
- 「沖縄戦全記録」NHKスペシャル取材班著 (219.9/ニ)
- 「私たちの戦争：中京高女の学徒動員と熱田空襲」越智久美子著 (215.5/オ)



戦争の悲惨な現実を伝える本です。今を戦前にするために、私たちができることは何なのか。

「知らなきゃよかった「!?」童話&昔話の真実」(388/シ)



古くから身近にある童話や昔話。その原典に触れてみると、残酷だったり、奇妙だったりします。そんな世界をのぞいてみましょう！

『奇人・変人・大天才』マイク・ゴールドスミス著

- 「紀元前から19世紀」(402.8/ゴ)
- 「19世紀・20世紀」(402.8/ゴ)

歴史を変えた世界の天才科学者たちの驚きの人生が、コミック風にならされています。不真面目なような真面目なような・・・面白いです。



◇鉄道に関する本◇

- 「テツに学ぶ楽しい鉄道旅入門」野田隆著 (686.04/ノ)
- 「京都鉄道博物館ガイド」来住憲司著 (686.06/キ)
- 「鉄道の歴史」クリスチャン・ウォルマー著 (686.2/ウ)
- 「ニッポン鉄道の旅68選」谷川一巳著 (686.21/タ)



『パワーアップ吹奏楽!』

- 「コントラバス」「ホルン」「トランペット」「トロンボーン」
- 「チューバ」「ユーフォニアム」「フルート」「クラリネット」
- 「オーボエ」「ファゴット」「パーカッション」



知りたかったことが載っている、今日から役立つ一冊です。これから楽器を始める人には、楽器の持ち方から演奏方法や練習法を。もっと上達したい人には、合奏でうまく演奏ができる目的別練習を。

「スポーツ感動物語：アスリートの原点」(780.28/ス/1～6)

- 「1:才能に勝る努力」
 - 「2:ゆずれない信念」
 - 「3:確かな信頼、訪れる栄光」
 - 「4:遅咲きのヒーロー」
 - 「5:逆境を突破するメンタル」
 - 「6:高めあえるライバル」
- アスリートたちの活躍の背景には、学生時代や下積み時代の忘れられない原点がある。アスリートたちの感動エピソードを通して夢と希望をもらおう！



「それっ!日本語で言えばいいのに!!」カタカナ語研究会議監修(814.7/カ)



カタカナ語の誤用例と正しい日本語の正解例で、カタカナ語の意味と使い方がスッキリとわかります。余計なカタカナ語は、まわりをイラッとさせるだけです。

「記憶屋 2」織守きょうや著 (913.6/オ/2)

「腕貫探偵4」西澤保彦著(913.6/ニ/4)

「その本の物語 上、下巻」村山早紀著 (913.6/ム/1,2)

「新しい韓国の文学:14ワンダーボーイ」キムヨンス著 (929.13/ア/14)



父親の運転するトラックで事故に遭った一人の少年。奇跡的に一命をとりとめ、彼を取り巻く環境はガラリと一変していた。事故をきっかけに、彼は人の心の声が聴こえるという特殊能力をもつようになる。その存在と能力はやがて、軍部によって政治利用されるようになる。

「水の継承者ノリア」エンミ・イタランタ著 (993.61/イ)



ノリアは父のような“茶人”になる修行を重ねていた。茶人はある使命を担っていた。人知れず残された泉の在り処を、秘密裏に守りつづけなければならない。だが、資源や技術が失われた世界で、貴重な水を隠すことは犯罪だった。